



点滅は、電池が消耗している合図です！
交換してください！

赤いランプが点滅したら、 乾電池を交換しよう！

防災行政無線 戸別受信機

指定避難場所 が変更になりました

9月6日、午前3時8分頃に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」では、本町でも震度3を観測。
その後、町内全域で停電し、地下水を使用しているご家庭は、ポンプが動かず生活用水が確保されない大変な事態に。対応のため一部行政区会館などに給水場所を設け、町内の細かい情報を防災行政無線で周知しました。
しかし、停電時は内蔵されている電池に切り替わりますが、乾電池が消耗

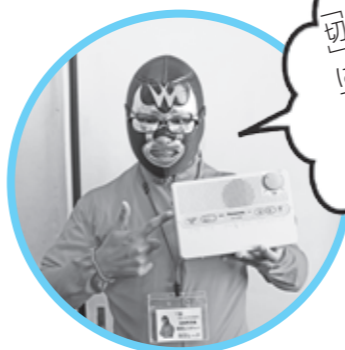
して、放送が流れていなかったというケースもありました。万が一に備え、赤いランプが点滅したら乾電池を交換してください。また、一年に一度は、新しい電池に交換をお願いします。
震災後、「赤いランプが点滅している」「電池交換の方法がわからない」「フタが硬くて開かない」などの問い合わせが多く寄せられています。
防災レンジャーが教えてくれましたので、左の写真を参考にしてください。

他地域の人は、町民カレンダーのハザードマップを確認しよう！



比布中学校は、8月20日（第2学期開始日）から中央小学校横の新校舎に移転となりました。
7区～8区、12区～17区にお住まいの皆さんの指定避難所は、中学校旧校舎（北2線8号）から中学校新校舎（寿町4丁目1番3号）に変更となりましたので、お知らせいたします。
なお、広域避難場所は、旧比布中学校グラウンド（北2線8号）のまま変更はありません。

まず、始めに横にある電源スイッチを「切」にする



電源カバーを抜き、無線機の前面を「上」に向けて横にします。



前面の中心に書かれている「▽」の部分を下に強く押しながら滑らせ、フタを外します。



電池フタを外したら、乾電池を取り外します。⊕の方向の確認をし、電池交換をします。



フタをして、電源カバーを接続。電源スイッチを「入」にする。ハイ！完成です！



防災行政無線放送の 運用にご協力ください

町では、各家庭に戸別受信機を無償で設置し、行政や営農、そのほか生活に必要なさまざまな情報を住民の皆さんに提供する「防災行政無線放送」を行っています。
特に、災害が発生したときや、発生するおそれがあるときは、災害に関する情報や避難場所などを迅速に伝達する手段として、重要な役割を果たします。

皆さん こんにちは
こちらは**防災ぴっぷ**です



◆戸別受信機

戸別受信機は、町が家庭に1台ずつ貸与しています。通常は各家庭用電源で作動していますが、停電になると内蔵されている乾電池に自動的に切り替わります。
乾電池のランプ（赤色）が点滅したら乾電池を交換してください。

なお、乾電池は単3形2本で、費用は使用者の負担です。



◆こんなときは連絡を
▼受信機が設置されていない。（住居に二世帯が同居されている）も1台としています。

▼放送が入らない、または雑音などが入り聞き取りにくい。

◆引越しをするときは

▼町内での引越し
受信機を、そのまま使用してください。
※行政区（町内会）が変わった場合は、行政区別放送の設定を変更しますので、ご連絡ください。
▼町外へ転出するとき
届出の際に、受信機を役場税務住民課戸籍年金係窓口へ返却してください。
※ご自分で取り外しができない場合は、ご連絡ください。

◆定時放送

昼は午後零時15分、夜は午後7時30分に行います。
※土・日曜日、祝日などには定時放送は行いません。

◆臨時放送

行事の中止や葬儀など、緊急やむを得ない場合に行います。

◆放送の申し込み

放送予定日前日の午後3時までに申し込みください。

◆放送の回数

放送回数の目安は次のとおりです。

- ▽1回 イベントの中止放送など
- ▽2回以内 対象者が会員などの一部の町民のみもの（例会など）
- ▽3回以内 対象者が会員などの一部の町民のほか、一般町民も参加できるようなものなど
- ▽4回以内 お悔やみ放送や全町的なイベントなど、行政上、特に必要な事項

サイレンなどで重要なお知らせも流れるので要注意！

Jアラートも流れます！



◆放送を聞き逃した時は

▼再度、放送を聞き返したい場合は、☎85・3361へ問い合わせください。自動音声によりご案内します。（ただし、通信料は使用者の負担となります）

◆問い合わせ・申し込み

役場まちづくり推進室広報係
☎85・4802